

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<4週> 感染性胃腸炎 - 定点当たり報告数が例年にくらべかなり多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ> 第4週のインフルエンザ患者報告総数は4,210



病原体情報
P.5

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告



速報
P.6-7

集団かぜからのインフルエンザウイルスA/ソ連型(H1N1)の分離 - 福井県 / 社員食堂で発生したウイルス性食中毒 - 滋賀県 / 他



海外感染症情報
P.8

髄膜炎菌感染症とメッカ巡礼 / 結核患者の増加傾向 - 英国 2000年



感染症の話
P.9-11

リステリア・モノサイトゲネス感染症
病原菌は自然界に広く分布しており、食品流通環境の変化も要因し様々な食品が汚染される危険性がある



読者のコーナー
P.12-13

麻疹の流行状況



グラフ総覧(4週)
P.14-20



4週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第4週コメント 2月1日集計分

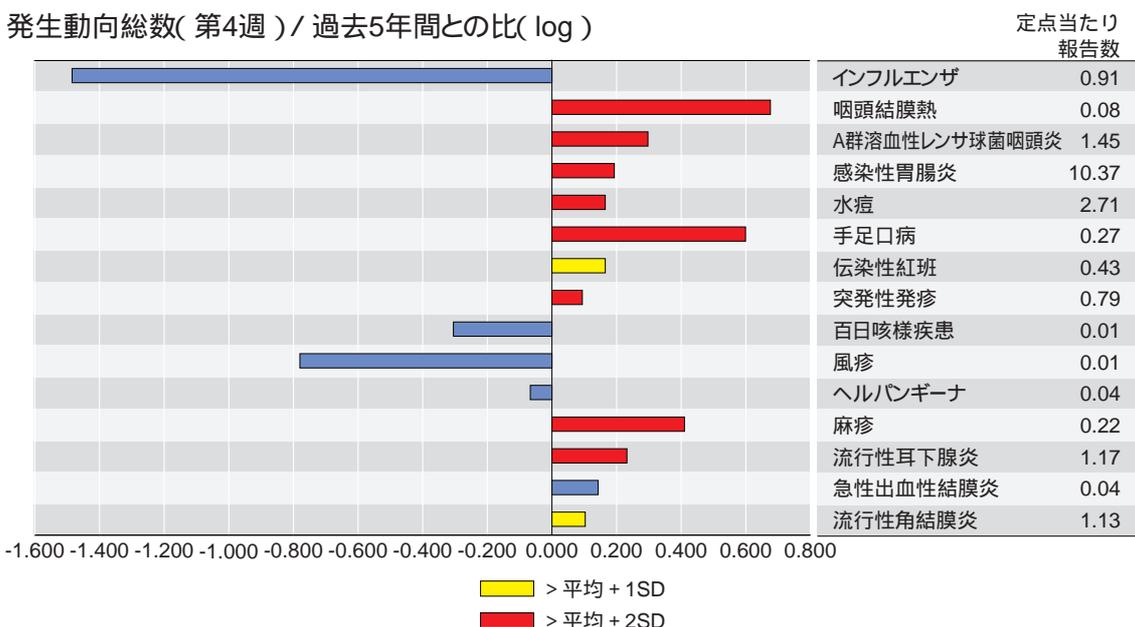
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: インドネシア)、細菌性赤痢6例(推定感染地: 国内、タイ、インドネシア、インド、マレーシア各1例。1例は疑似症例で推定感染地ベトナム。)、腸チフス3例(推定感染地: 3例ともインド)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症14例
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例、オウム病2例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症1例、ツツガムシ病4例、破傷風2例、急性ウイルス性肝炎4例
 - A型1例
 - B型1例__感染経路: 性行為感染
 - C型2例__2例とも感染経路不明
- 後天性免疫不全症候群9例(AIDS1例、無症候性キャリア8例)
 - 感染経路: 性行為感染9例(同性間7例、異性間1例、同性/異性間性的接触1例)
- 梅毒3例(早期顕症1例、無症候2例)
- マラリア3例 三日熱マラリア1例(推定感染地: トルコ・アフリカ・タイ)、熱帯熱マラリア2例(推定感染地: ガーナ、マレーシア)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が例年にくらべかなり多くなっている。感染性胃腸炎は宮崎県で定点当たり報告数29、愛媛県と三重県で19、宮城県で18、徳島県で16と多くなっている。麻疹は例年の同時期とくらべ定点当たり報告数がかなり多く、とくに高知県では定点当たり報告数が4.4となっており、大分県でも定点当たり報告数が1を超えている。流行性耳下腺炎と水痘も過去5年の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている。水痘は宮崎県で定点当たり報告数7.1と多く、新潟、長野、愛媛、沖縄の各県でも定点当たり4人を越えている。流行性耳下腺炎は熊本県で定点当たり報告数3.5と多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数が2001年に入って漸増しており、過去5年間の平均と比べるとやや多い定点当たり報告数となっている。インフルエンザは患者報告数が増えて14の府県で定点当たり報告数1を越えた(詳細は4ページ注目すべき感染症参照)。咽頭結膜熱は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている(14ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照)。

発生動向総数(第4週) / 過去5年間との比(log)

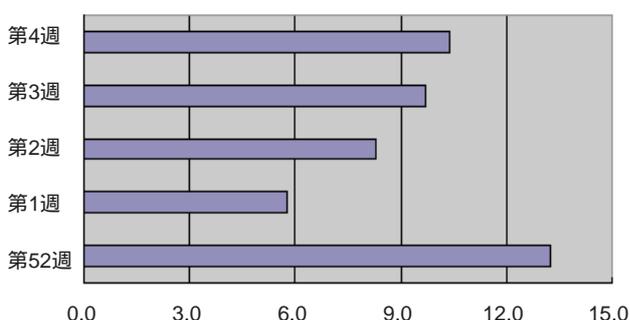


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

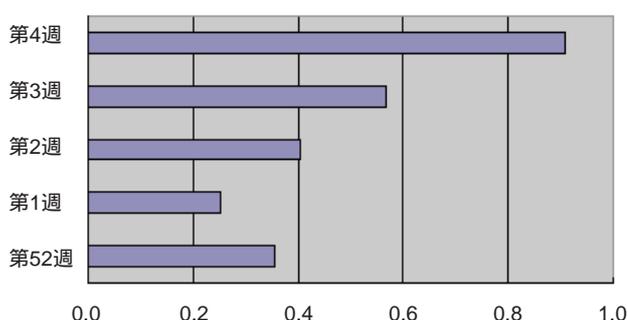
最近の注目疾患-5週間の動き

感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2001年第1週を境に再び増加傾向に転じ、3週続けて定点当たり報告数が増加した。インフルエンザは前週より定点当たり報告数が増加し、流行開始の指標といわれる定点当たり報告数1に近づいている。流行性耳下腺炎は前週より定点当たり報告数が減少した。水痘はわずかながら定点当たり報告数が前週より増加した。

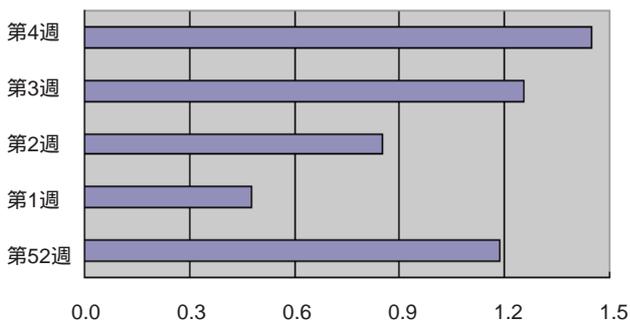
感染性胃腸炎



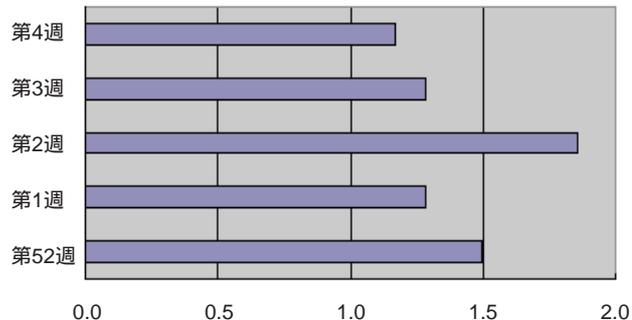
インフルエンザ



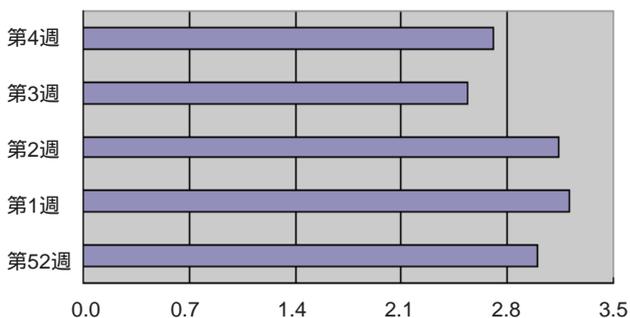
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行性耳下腺炎



水痘



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

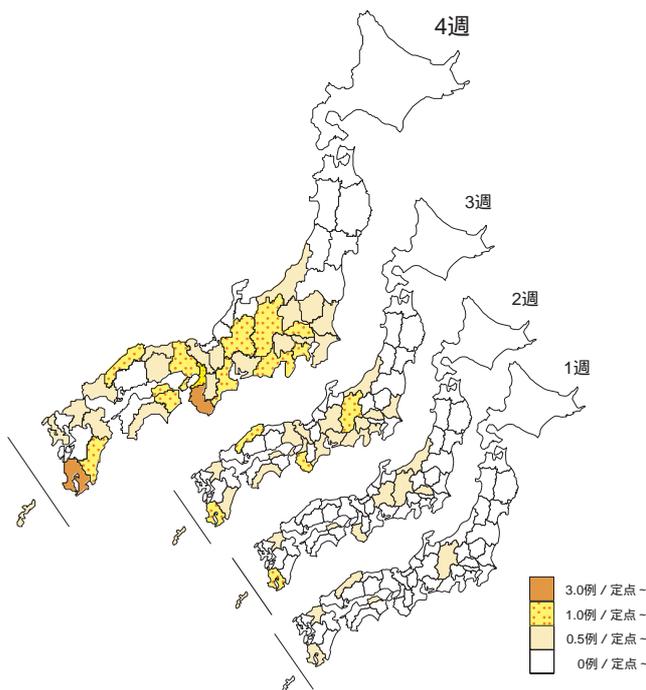
インフルエンザ流行状況

2000/2001シーズンのインフルエンザ患者発生は、近年患者発生のピークとなった1月下旬になっても流行開始の指標と考えられる閾値(定点当たり報告数1.0)に達しておらず、立ち上がりは遅くなっている。2001年第4週のインフルエンザ患者報告総数は4,210で、この1週間の1医療機関当たりの平均インフルエンザ患者受診数(定点当たり報告数)は0.91であった。第4週になって定点当たり報告数が1を越える都道府県が14と増え(第3週はわずか3県)、なかでも和歌山県では定点当たり報告数3.7、鹿児島県では3.1、島根県では2.0と他の都道府県に先駆けて患者増加がみられている(都道府県別患者発生状況については右図参照。インフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては5ページ病原体情報参照)。

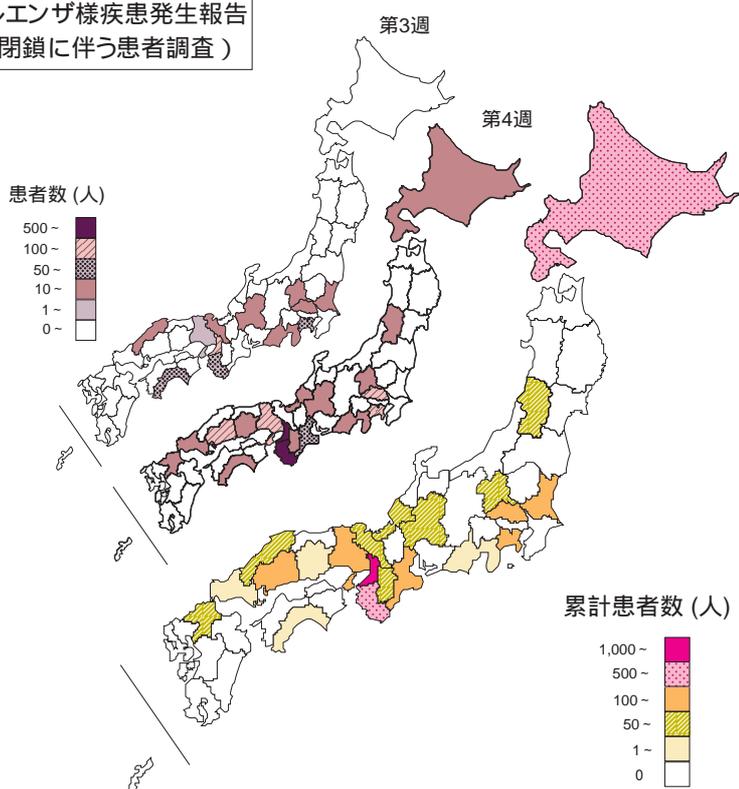
厚生労働省健康局結核感染症課のまとめによると、インフルエンザ様疾患発生報告数における学校欠席者数は、平成12年10月29日から平成13年1月27日までの累計で2,377人であり、昨年同期の116,896人に比べ約50分の1となっている。

感染症発生動向調査警報・注意報発生システムによれば、2001年第4週には、和歌山県、兵庫県それぞれのそれぞれ2保健所にインフルエンザ流行注意報が発生している。

インフルエンザ発生動向調査
(4週時点)



インフルエンザ様疾患発生報告
(学級閉鎖に伴う患者調査)





病原体情報

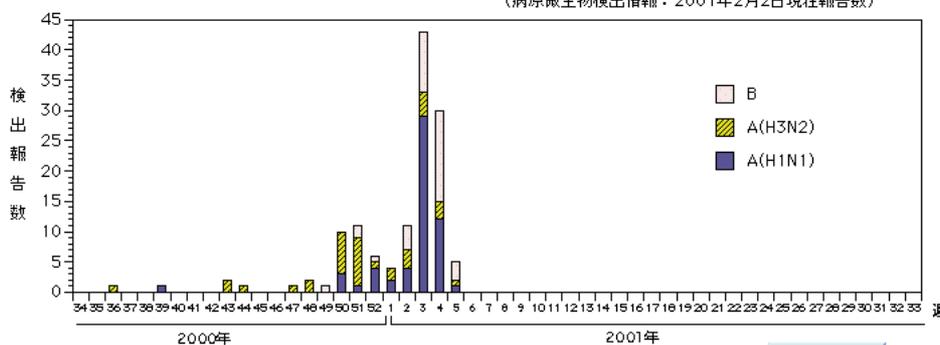
(2001年2月2日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が57件、A/香港(H3N2)型が36件、B型が36件報告されている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第1週に香川県2、第2週に仙台市1、富山県1、兵庫県2、第3週に神奈川県3、富山県1、三重県1、大阪府2、島根県11、広島県11、第4週に千葉県3、富山県1、三重県3、大阪市1、島根県4、第5週に千葉県1、A/香港(H3N2)型が第1週に群馬県1、鹿児島県1、第2週に奈良県3、第3週に神奈川県1、大阪府1、大阪市2、第4週に仙台市1、石川県1、大阪府1、第5週に仙台市1、B型が第2週に奈良県1、長崎県3、第3週に静岡県4、和歌山県1、広島県1、徳島県1、高知県1、宮崎県2、第4週に横浜市1、静岡県8、大阪府2、島根県1、徳島県3、第5週に横浜市2、静岡県1が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン
(病原微生物検出情報：2001年2月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

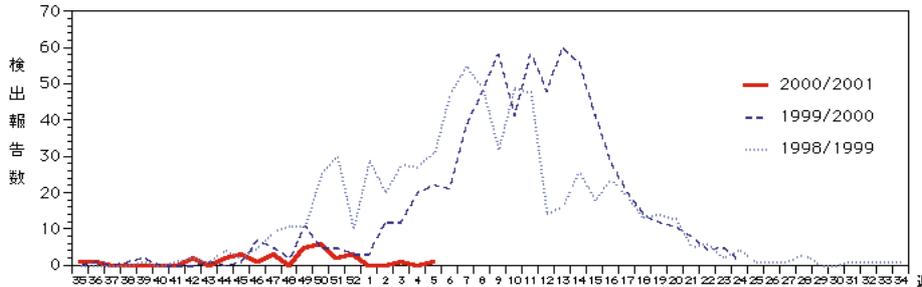


Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は31件、SRSVの検出は265件報告されている。最近では、ロタウイルスは第3週に大阪市1、第5週に大阪市1、SRSVは第1週に大阪市1、第2週に新潟県2、大阪市3、第3週に新潟県1、大阪市3が報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報：2001年2月2日現在報告数)

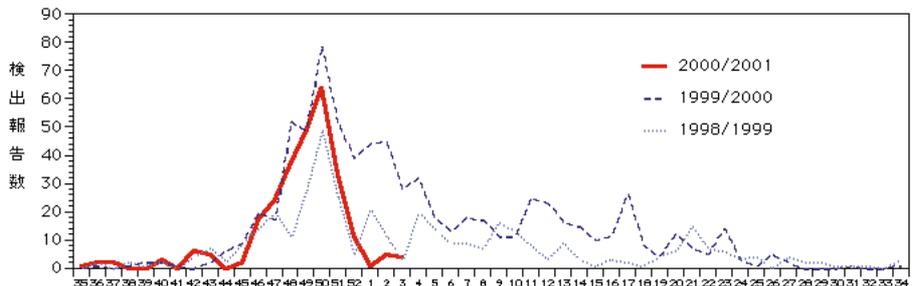


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報：2001年2月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



集団かぜからのインフルエンザウイルスA/ソ連型(H1)の分離 - 福井県

2001年1月24日、県の嶺南に位置する小浜市の小学校で今シーズン初めての集団かぜが発生した。MDCK細胞により、患者うがい液からのウイルス分離を試みたところ、6名中3名のうがい液からインフルエンザA/ソ連(H1)型が分離された。

分離ウイルス株は赤血球凝集抑制(HI)試験で、国立感染症研究所から分与された今シーズンのワクチン株であるA/New Caledonia/20/99(H1N1)抗血清のホモ価(320)と同等に反応しており、ワクチン類似株であると思われた。

患者の症状は発熱(38 ~ 39.5)、頭痛、鼻汁、咳、咽頭痛などの呼吸器症状が主で、なかには下痢などの胃腸炎症状を伴う患者もみられた。なお、この集団かぜでは6年生の1クラス(在籍者数32名のうち14名が欠席)で学級閉鎖の措置がとられた。

これまでのところ、福井県では散発患者を含め、インフルエンザウイルスが分離同定されたのは本事例が最初であり、本格的流行に拡大するのかどうか今後の動向が注目される。

福井県衛生研究所 有定幸法 松本和男

(IASR2001年3月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

社員食堂で発生したウイルス性食中毒 - 滋賀県

2000(平成12)年12月8日 ~ 9日にかけて、県内の一事業所で多くの従業員が下痢、嘔吐を主徴とする胃腸炎を発症しているとの報告が保健所にあった。

事業所には120名が勤務しており、その週には105名が社員食堂を利用している。今回の発症者はすべて昼食での食堂利用者であり、他に共通食がないこと、事業所内9課のうち7課に発症者が分散し、各課での発症率が23 ~ 50%であったため特定の作業が原因ではないこと、さらに事業所勤務者間で密接な接触があったとは考えられないことから、社員食堂を原因施設とする食中毒が疑われた。なお、事業所の使用水は上水であり、同時期に当該地域における集団胃腸炎の報告は他にはなかった。

発症者は40名で、食堂利用者の38%であった。主な症状は、下痢30名(75%)、嘔吐22名(55%)、嘔気29名(73%)、発熱19名(48%)、平均最高体温37.7 であった。また、発症時刻は8日夜 ~ 9日朝に一峰性に分布していた。11日および12日に発症者7名の糞便を採取し、プライマー-SR33、SR46、SR48、SR50およびSR52を用いてRT-PCRを行い、得られたPCR産物についてサザンブロットハイブリダイゼーションを行ったところ、5名の糞便からP2B型のノーウォークウイルス遺伝子が検出された(genogroup II)。また、細菌検査の結果、いずれの糞便からも食中毒起因菌は検出されなかった。社員食堂の従事者3名全員について1名は11日に、他の2名は14日に糞便を採取しウイルス検査を行ったが、結果はすべて陰性であった。

7日の昼食が原因と仮定すると、平均潜伏時間は42時間となり、ノーウォークウイルスによる食中毒の潜伏時間と一致するため、これが原因食事であると推定された。この日のメニューは、鶏肉大葉揚げ、エノキとほうれん草のおひたし、ご飯、みそ汁、皿うどん、カレーライスおよびサラダであった。喫食調査の結果、エノキとほうれん草のおひたしを食べた者に発症者が有意に多かった($\chi^2=4.47, p<0.05$)。そこで、食材であるエノキおよびほうれん草、さらにおひたしの残品についてPBSを用いてそれぞれ2倍乳剤を作製し、35,000rpm150分間遠心分離後、沈査を100 μ lの蒸留水に浮遊させたものについて糞便と同様にRT-PCRを行ったが、いずれもウイルス遺伝子は検出されなかった。

ノーウォークウイルスは、かき等の二枚貝による食中毒の原因ウイルスとして検出されることが多いが、今回の事例では、推定原因食事のメニューには貝類は含まれていなかった。食堂従事者あるいは食材

から持ち込まれたウイルスが調理の過程で食品を汚染したと考えられるが、従事者および推定原因食品からウイルス遺伝子は検出されず、汚染経路の確定はできなかった。

滋賀県立衛生環境センター 吉田智子 大内好美 横田陽子
 滋賀県水口保健所 奥田大史郎 中村直美 丸田真治 福田弘一
 滋賀県草津保健所 杉山信子

(IASR2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

C群ロタウイルスによる急性胃腸炎集団発生事例 - 佐賀県

2000年4月、佐賀県内の全寮制中高併設校においてC群ロタウイルスによる急性胃腸炎の集団発生がみられたので、その概略を報告する。

患者発生は4月18日に始まり、23～24日をピークとして26日まで続いた。生徒数1,041名のうち有症者は生徒のみ309名で、全学年に及んだ。中1～高1は高2、高3にさきがけて発症し、発症率は、高2、高3では10%程度であったが、中1～高1では30～50%と比較的高率であった。寮別では中1～高1が居住するA寮が41%、高2、高3が居住するB寮が12%で、A寮が3倍以上高かった。全体では30%の発症率であった。有症者の主な症状は、嘔吐および嘔気が最も多く(63%)、次いで頭痛(51%)、37～39 程度の発熱(51%)、腹痛(41%)、下痢(38%)等で、これらの症状は3日～4日で消失した。

患者発生の多かった4月23日～24日に発症した患者の便、および5月1日～2日に採取した調理従事者の便について、電子顕微鏡(EM)による観察を行ったところ、患者便23検体中16検体(70%)、調理従事者便33検体中1検体(3.0%)にロタウイルス粒子が観察された。RPHA法によるC群ロタウイルス抗原の検出では、患者便23検体中15検体(65%、EM陽性検体)、調理従事者便33検体中1検体(3.0%、EM陽性検体)が陽性であった。また、14検体の患者ペア血清について、RPHI法およびELISA法(一部検体)による抗体検出を行ったところ、5検体(36%)でC群ロタウイルスに対する有意な抗体上昇が確認された。C群ロタウイルスVP6遺伝子検出RT-PCRでは、患者便3検体中3検体(100%、EM、RPHA陽性検体)が陽性であった。食品は、患者発生のピーク前3日分の給食17検体を用いてRPHA、RT-PCRを行ったがすべて陰性であった。

本事例は、当初C群ロタウイルスが検出された調理従事者から汚染された給食が原因かと思われたが、喫食状況調査の結果、共通食品は特定できなかった。この学校が全寮制であり、生徒は近接して居住し、風呂、トイレ等を共有していたことを考慮すると、主たる感染経路は食品を介さない直接的な伝播、いわゆるヒト ヒト感染であると思われ、散発的な患者発生の間に感染者が蓄積し、その後何らかの原因で患者数が急増したと推察された。ウイルスの感染源および感染経路を特定することはできなかったが、同時期に近隣地区で急性胃腸炎散発事例の患者からC群ロタウイルスが検出されていることから、地域での流行があり、そこから持ち込まれたウイルスによって感染が拡大した可能性が考えられた。

C群ロタウイルスによる急性胃腸炎集団発生は、ここ10数年に10数例が報告されている(IASR Vol.20、No.9参照)が、そのほとんどが小学生における発生である。しかし、今回の事例は、より年長の中高校生における発生であり、また、成人における集団発生(IASR Vol.12、No.5)も報告されていることから、低年齢層だけでなく、あらゆる年齢層における発生の可能性を考慮する必要があると思われた。

最後に、PCRプライマーの分与およびELISA法による抗体検査をしていただいた岡山県環境保健センター葛谷先生、疫学情報の収集および検体採取に御協力をいただいた佐賀中部保健所の関係各位に深謝いたします。

佐賀県衛生研究所 江頭泰子 吉森清史 船津丸貞幸 松浦元幹

(IASR2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

髄膜炎菌感染症とメッカ巡礼

英国CDR weekly 2001年1月11日

英国予防接種諮問委員会(Joint Committee on Vaccination and Immunisation)は2000年のメッカ巡礼者に関連した髄膜炎菌感染症の集団発生をうけて、英国からメッカ巡礼に参加する旅行者は従来のA、C群2価ワクチンではなくA、C、W135、およびY群の4価ワクチンを受けることを推奨している。1987年のメッカ巡礼者に関連したA群髄膜炎菌感染症の集団発生のおと、メッカ巡礼目的のサウジアラビア入国には髄膜炎菌ワクチン接種の証明書が必要となっており、それ以来2000年まで大きな流行は抑えられてきた。

2000年3月に英国PHLSがW135群髄膜炎菌感染症例の増加に気づき、その多くはメッカ巡礼者であることが確認された。疫学調査とW135群髄膜炎菌のPCRによる実験室診断により、2000年12月の終わりまでに、8例の死亡例を含む45例がW135群髄膜炎菌の同じ株により集団発生をおこしたことが判明した。7例はメッカ巡礼者であり、22例は彼らとの接触があり、16例には明らかな接触はなかった。9カ月にわたって流行が持続しているのは、以前のA群髄膜炎菌の集団発生では認められなかった現象である。

結核患者の増加傾向 - 英国 2000年

英国CDR Weekly 2001年1月25日

英国での結核患者届け出数は近年増加しており、2000年は6,797人で、1999年(6,144人)と比較して10.6%の増加であった。3分の2の患者はロンドンから報告されている。報告増加数の4分の3は男性であり、そのほとんどは25～64歳の年齢群に含まれ、肺結核型が大部分である。この結核患者届出数増加の要因として、結核蔓延国から英国への最近の移民の間での高い結核罹患率が示唆されている。この傾向に対し、1998年からロンドンなどでは感染拡大予防と治療のプログラムが開始されている。



感染症の話

リステリア・モノサイトゲネス感染症

リステリア症は *Listeria monocytogenes* (リステリア・モノサイトゲネス) による感染症で、ヒトのほか種々の動物にも認められる人畜共通感染症である。本菌は動植物を始め自然界に広く分布している。

ヒトのリステリア症が我が国で最初に報告されたのは、1958年8月に山形県で髄膜炎、11月に北海道で胎児敗血症性肉芽腫症を発症した症例である。以来、1970年代前半まで年間数例の散発例がみられていたが、徐々に本症に対する関心が高まるにつれて報告数も漸増してきている。リステリア症の病型は、ヒトでは髄膜炎が最も多く、次いで敗血症、胎児敗血症性肉芽腫症、髄膜脳炎、動物では脳炎のほか敗血症、流産などがある。1980年代に欧米諸国で生乳、サラダ、ナチュラルチーズなどの食品が感染源となったリステリア症が相次いで報告され、食品衛生の分野で重要視されている。

疫学

1929年に Nyfeldt によりヒトのリステリア症が初めて明らかにされて以来、大規模な発生や事例数が少なかったためあまり注目されず、感染経路や疫学的背景など不明な部分が多い。欧米では牛乳、チーズ、野菜、食肉などの食品を原因とした集団発生が1980年代になって多数報告されるようになった。食品が感染源であることが証明された最初の事例は、1981年のカナダのコールスローを原因とした集団事例である。我が国では集団事例の発生はなく、食品が疑われる事例でも感染源や感染経路が明確にされたものはない。

我が国の健康人における保菌率は、1972年に旭らが0.5%、1989年江成らが1.3%と報告している。また、本菌の宿主域はきわめて広く、ほとんどの動物や種々の環境材料からも分離されることから、様々な食品が汚染される危険性があり、乳、食肉などの動物性食品はこの危険性が高い。食品の低温流通が進み、食品を長期間保存することが可能となったことも、食品媒介感染症として注目されるようになった要因の一つとして考えられる。

病原体

ヒトのリステリア症はリステリア・モノサイトゲネスによって発症する。

本菌はグラム陽性、通性嫌気性、両端鈍円の無芽胞短桿菌である。単在あるいは短連鎖を示し、少数の鞭毛により30 以下の培養で運動性を示す。カタラーゼ陽性、オキシダーゼ陰性、VP 反応陽性である。普通寒天培地の1夜培養で微小の円形半透明集落を形成する。通性嫌気性菌ではあるが、どちらかといえばやや微嫌気性で、半流動高層培地に穿刺培養すると培地表面から数mm下層に雨傘状の発育が認められる。この所見は "umbrella motility" と呼ばれている。発育温度域は0 ~ 45 と広く、至適発育温度は30 ~ 37 であるが、5 の低温でも発育増殖でき

る特徴がある。発育pH域はpH6～9の範囲で、至適発育pHは、中性またはわずかにアルカリ性である。食塩耐性で10%食塩加ブイオン中でも発育できる。ウサギ、ウマ、ヒツジなどの血液寒天平板では35℃、1夜培養で弱い溶血性を示す。この溶血はCAMP(Christic-Atkin-Munch-Peterson)テストで黄色ブドウ球菌の産生する溶血素により増強され、溶血環は明瞭に拡大される。

臨床症状

一般的な細菌感染による化膿性髄膜炎および敗血症と同様である。食品媒介性の場合も全く同様に、中枢神経系の疾病でほとんどが占められる。38～39℃の発熱、頭痛、嘔吐などがあり、意識障害や痙攣が起こる場合もある。健康な成人では無症状のまま経過することが多いが、感染初期には倦怠感、弱い発熱を伴うインフルエンザ様の症状を示すことがある。胎児敗血症では、妊婦から子宮内の胎児に垂直感染が起こり、流産や早産の原因となる。妊婦は発熱、悪寒、背部痛を主徴とし、胎児は出生後短時日のうちに死亡することが多い。集団発生の患者は妊婦、胎児、新生児が多く、散発例ではステロイド剤使用者、癌、白血病などの患者に多い。食品媒介感染症であるが、細菌性食中毒のような典型的な急性胃腸炎症状は通常示さないことが特徴である。

潜伏期間は平均して3週間と推定されている。過去の事例では24時間未満から多くは3日以上で、1カ月以上のももあり、広範囲にわたっている。したがって、集団発生の場合でも発生がバラバラで、原因食品を特定することが困難である。

病原診断

臨床的には髄膜炎も敗血症も、一般的な細菌感染によるものと鑑別が困難で、髄液の検査所見にも特徴的なことがない。したがって、患者の髄液、血液および臓器などからリステリア・モノサイトゲネスを検出することが診断確定のために必須である。

通常の臨床細菌検査に使用する血液培養用の液体培地および血液寒天培地により、比較的容易に分離できる。しかし、食品、糞便および環境材料などでは選択培養が必要である。抗原的には、耐熱性O抗原(菌体)と易熱性H抗原(鞭毛)により、16の血清型に分類され、このうち、臨床から分離される菌株の血清型は4bが最も多く、次いで1/2b、1/2aで占められる。なお、生菌をウサギに接種し末梢血を調べると、単球増多(monocytosis)をきたす。本菌の名称はこの単球増多に由来するが、ヒトでは必ずしも単球増多はみられない。

分離菌の診断、同定や型別についてはPCR法、パルスフィールド電気泳動法、RAPD法などを用いた遺伝子診断法が普及してきている。検査の簡易化あるいは迅速化を目的にELISA、DNAプローブなどを用いたキットが市販されているが、いずれもリステリア属菌の有無のみの判定で、リステリア・モノサイトゲネスであるかどうかは培養による確認が必要である。

治療・予防

リステリア症の治療には、第一選択剤としてペニシリン系特にアンピシリンが有効で、ほかにゲンタマイシン、テトラサイクリン、ミノサイクリンなどとの併用が効果的である。セフェム系薬剤は無効である。

人畜共通感染症であるリステリア症は、家畜、家禽やペットなどからの感染が疑われていたが、現在では保菌者や食品を介しての感染がより重要視されてきている。胎児敗血症は母親からの垂直感染と考えられているが、妊婦の泌尿器系における保菌実態は明らかでない。また、高齢者や免疫機能の低下した患者への感染源、感染経路も不明であり、保菌者と食品の低温流過程における汚染状況の把握が、感染防御と汚染防止に重要と考えられる。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

(神奈川県衛生研究所細菌病理部 山井志朗)



読者のコーナー

Q: 韓国で麻疹が流行していると聞きましたが、どのくらいの規模のものでしょうか?

日本でもまだ麻疹はあると思いますが、韓国への旅行者に何か注意がありますか?(福岡市・小児科医)

麻疹の流行状況

麻疹は合併症をおこす割合が高く、中耳炎が7%、肺炎が6%、その他に急性脳炎は0.1%に、麻疹罹患から5~10年後に生ずる亜急性硬化性全脳炎(SSPE)は麻疹罹患10万例に1人発生する、といわれています。死亡率は医療状況によって異なりますが、いわゆる先進国でも0.1~0.5%、途上国では10%前後ほどと考えられ、世界では未だ70万人が麻疹により死亡していることが推定されています。

WHOではポリオの次に制圧すべき疾患の候補の一つとして麻疹を位置づけています。北南米では、MMRワクチン接種を強力にすすめることによる麻疹制圧のプログラムが進んでおり、また欧米を中心に麻疹ワクチン(あるいはMMR)の2回接種法を実施している国が増えています。米国では年間の罹患患者数も100人以下となっており、麻疹はもはや国内の病気ではなく輸入感染症であると言っています。

韓国での状況

韓国ではMMRワクチンの2回接種法が導入されており(1回目の接種率は90%以上、2回目は30~40%)、年間罹患患者数は1995年71例、1998年4例、1999年88例と減少していましたが、昨年3月頃より急激な患者数の増加がみられました(韓国での麻疹は全数届け出疾患となっており、サーベイランスシステムが1999年から強化されています)。

韓国国立保健院の発表によれば、2000年には年間約3万2千人、2001年には1月15日までに約4千人の麻疹患者が発生したといわれています(1/18・朝鮮日報より)。韓国では今回の問題をふまえて麻疹制圧のために厚生大臣をトップとした対策委員会を作り、5カ年計画で2005年までに制圧プログラムを行う予定と報じられています。

麻疹ワクチン接種は、世界中の子どもが受けるワクチン(EPIワクチン)となっています。日本では、麻疹ワクチンは1歳~7歳半までの子どもたちが受ける定期接種ワクチンとなっていますが(標準的には生後12~24カ月)、病気の重篤さから1歳の誕生日を過ぎたらなるべく早い時期にワクチン接種を受けることをおすすめします。

海外へ出かける子どもさんで定期接種としての麻疹ワクチンがまだ済んでいない場合には、韓国に限らず、行き先がどこであれ出来るだけ麻疹ワクチンを済ませてから出国することをおすすめします。

なお大人を含めて7歳半を過ぎて、これまで麻疹にかかったこともなく、麻疹ワクチンの接種をしていない方には、任意接種ワクチンの扱いとなりますが、麻疹ワクチン接種を受けておくことをおすすめします。

日本の現状

日本では定点医療機関(約3,000)からの届け出の報告となりますが、2000年には年間に定点から22,497例の報告がありました。この定点観測では全体の患者数の10~20%位を把握しているという推計に基づく、我が国では年間10万人前後の麻疹患者が発生していると考えられます。

我が国での麻疹は、全体数としては減少傾向にあります。韓国よりはるかに多い患者数で、現在でも、各地で局地的流行がみられています。たとえば平成10年の沖縄県では2,000人以上が罹患し、6例

が死亡しており、また、2000年以降も大阪府、千葉県、高知県、奈良県、大分県などで流行的発生が報告されています。

韓国からの帰国者での麻疹発症の報告もありますが(IDWR 2000年第50号)、日本からの出国者が米国で麻疹を発症し、米国における公衆衛生対策上の問題となったことも指摘されています。麻疹は、隣国の問題と言うよりも、むしろ日本自身の問題としてとらえる必要があります。

日本における麻疹ワクチン接種率は、地域差もありますが、ここ数年の平均は70~80%にとどまっているという報告があります(予防接種の効果的実施と副反応に関する総合的研究・分担研究者 磯村思无)。

麻疹は医療状況が進んだ今日でも死に至ることが少なくない、重篤なウイルス性感染症です。確実な治療法はありませんが、効果の高い予防接種があります。1歳を過ぎたら、なるべく早い時期に麻疹ワクチンをすませることを強くおすすめします。

麻疹ワクチンの副反応として、接種後10日前後に発熱が約30%に、同時期に発疹が約10%にみとめられますが、いずれも軽症でほとんどは自然に消失します。麻疹の持つ重篤性から考えれば、これらは受け入れられる範囲の副反応であると考えられます。ごく稀に脳炎(100~150万接種に1例程度)を伴うことが報告されています。日本において、麻疹ワクチンによる副反応が否定し得ないとして健康被害に対する救済(補償)が行われた例は、10万接種当たり0.5件、死亡に対する認定は同じく10万接種当たり0.06件です。また、ゼラチンアレルギーのある小児には注意が必要であるとされていましたが、現在の国産麻疹ワクチンからはゼラチンは除去ないし改良型が用いられており、ゼラチンによるアナフィラキシー反応例は激減しました。

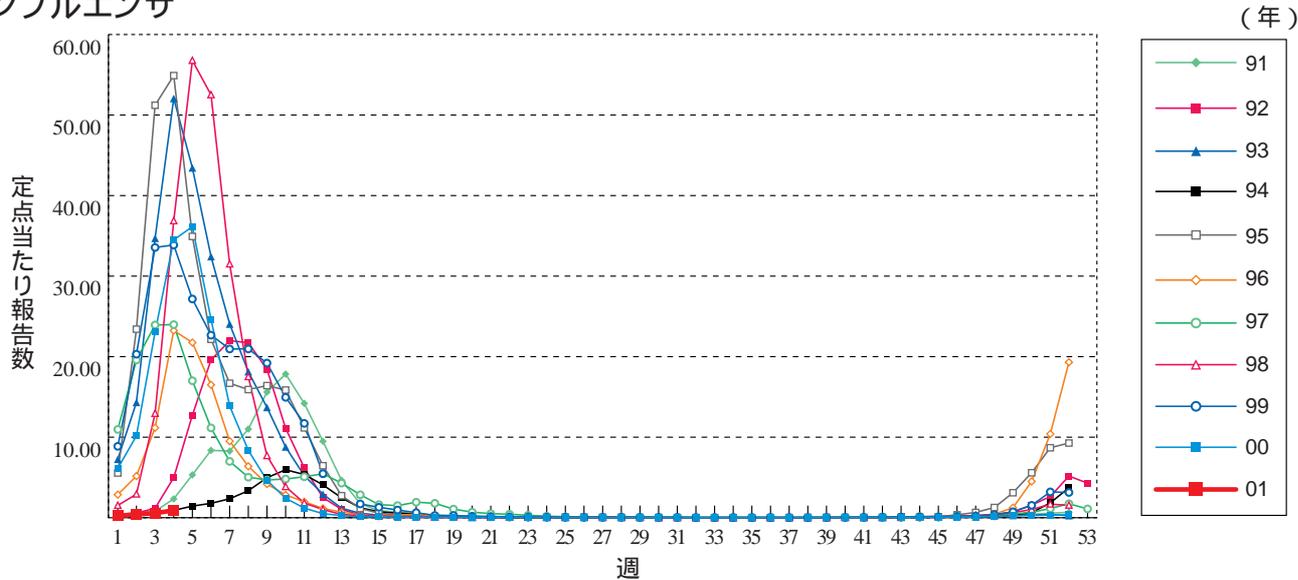
(国立感染症研究所感染症情報センター)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

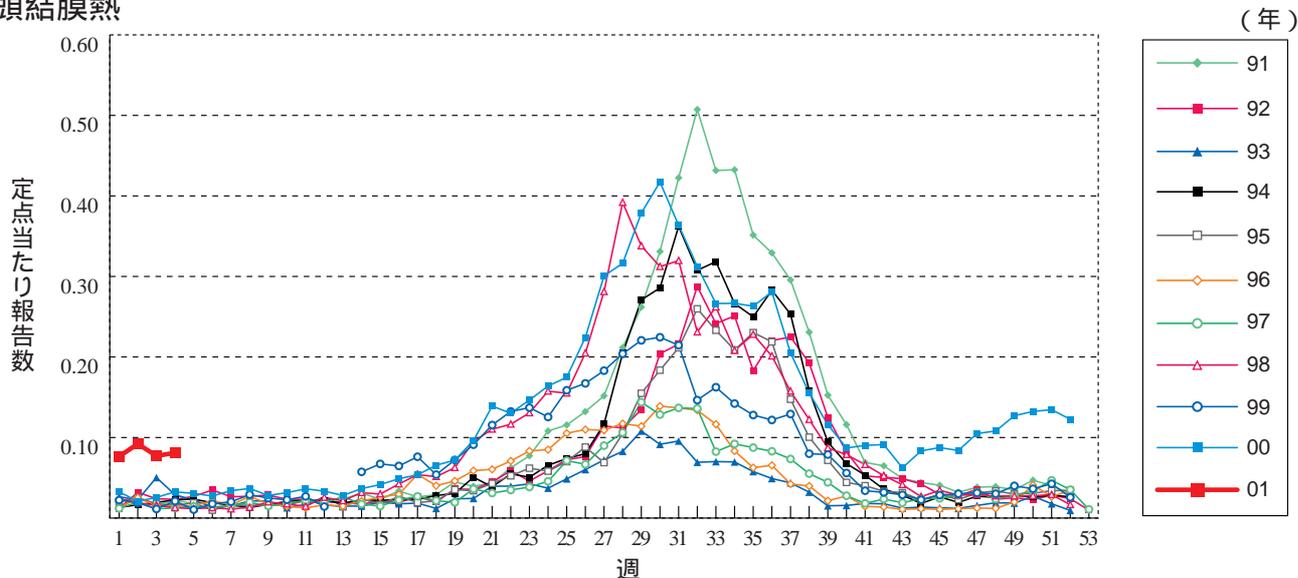
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(4週)

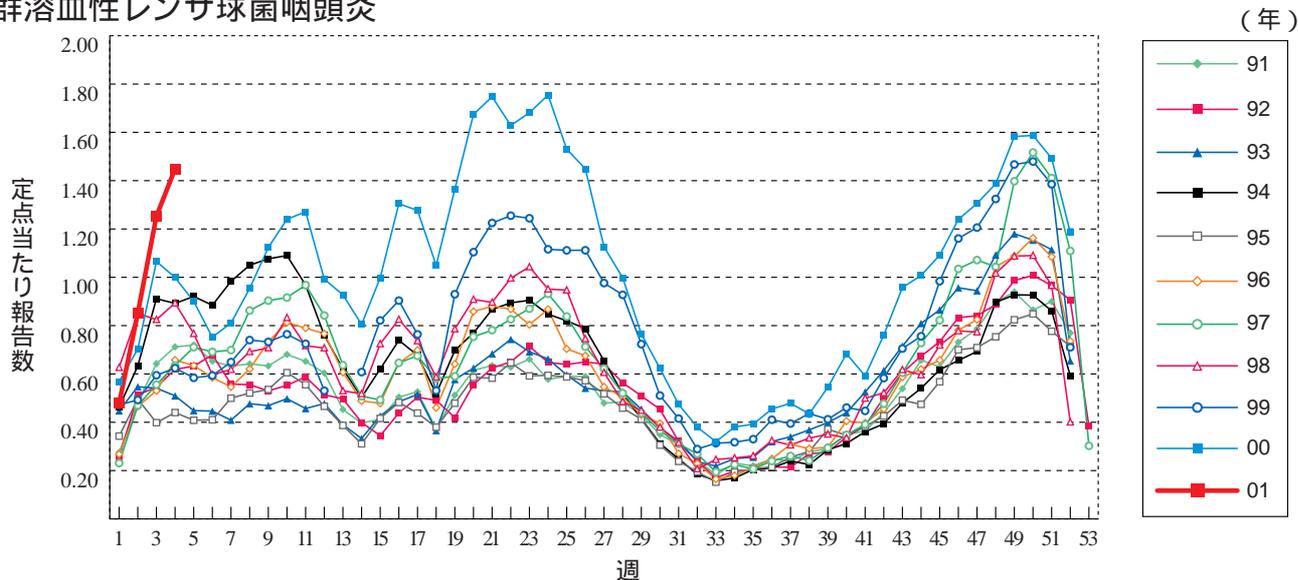
インフルエンザ



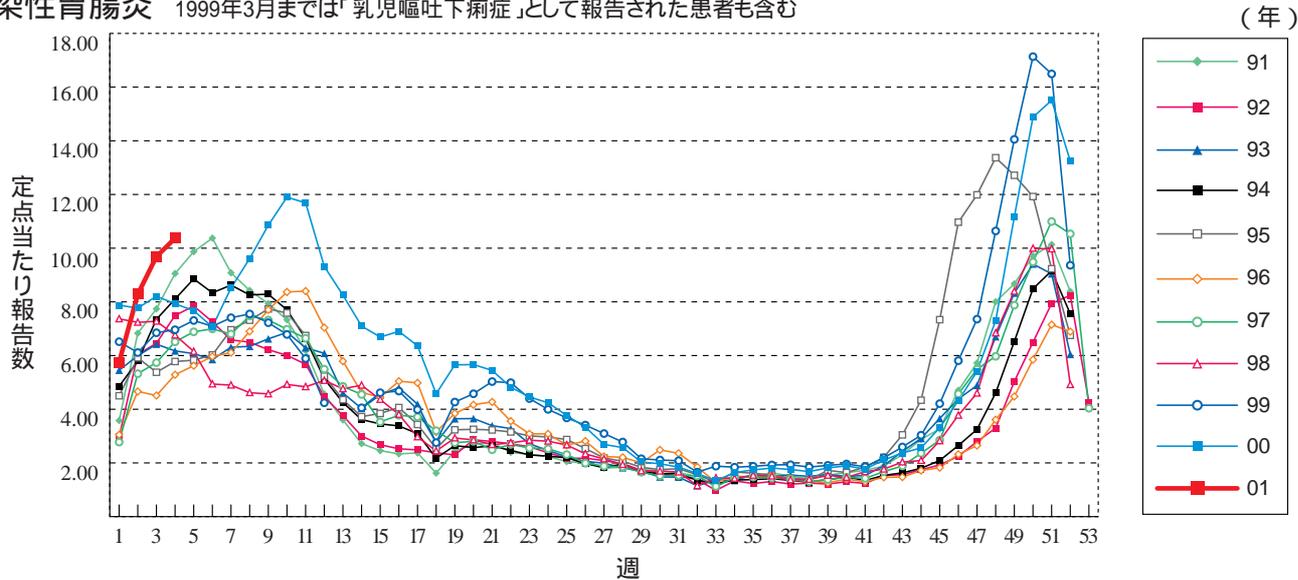
咽頭結膜熱



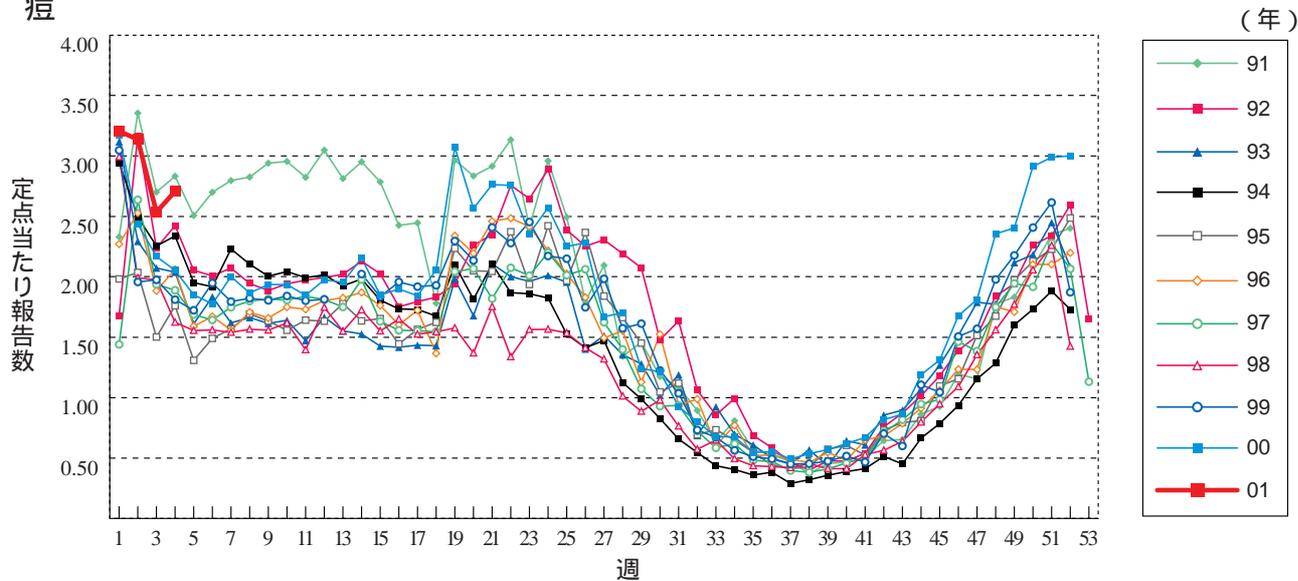
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



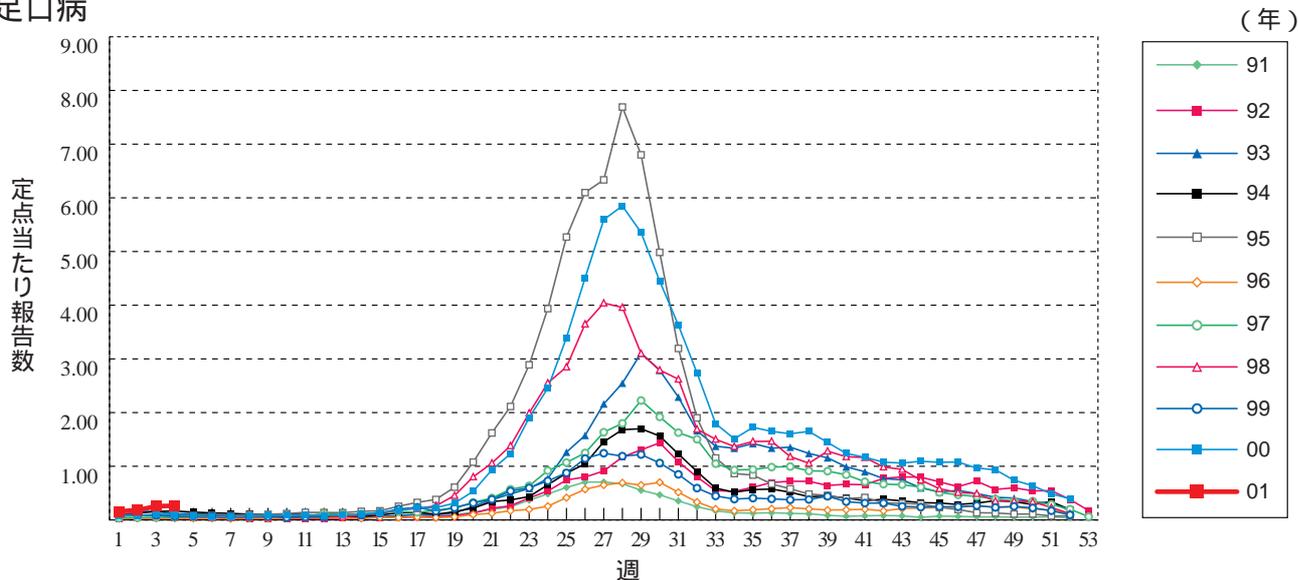
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



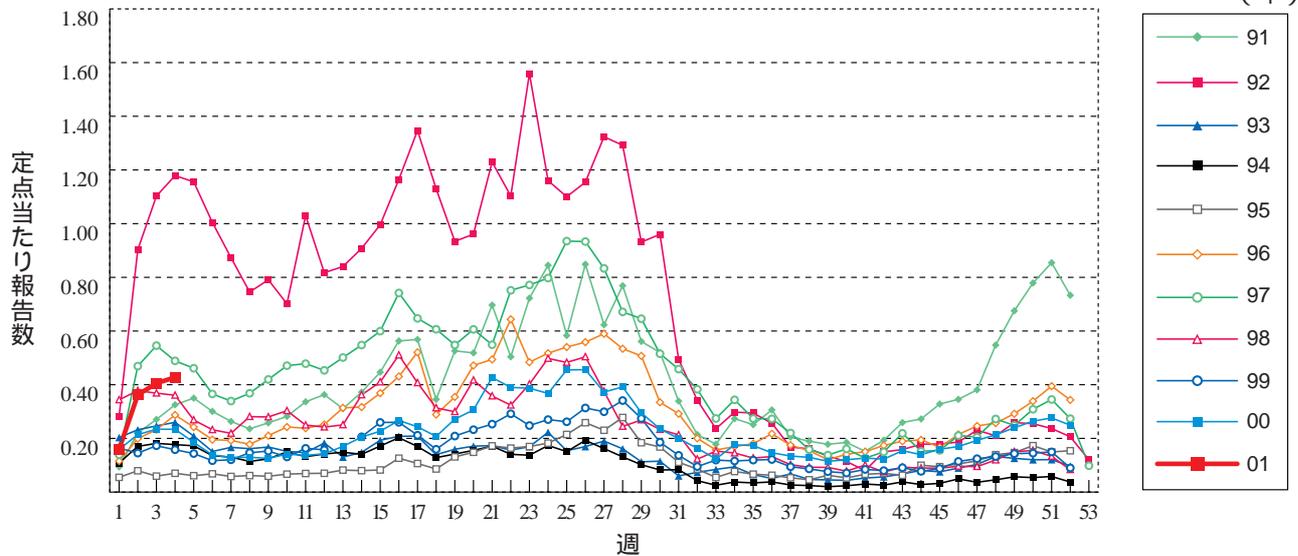
水痘



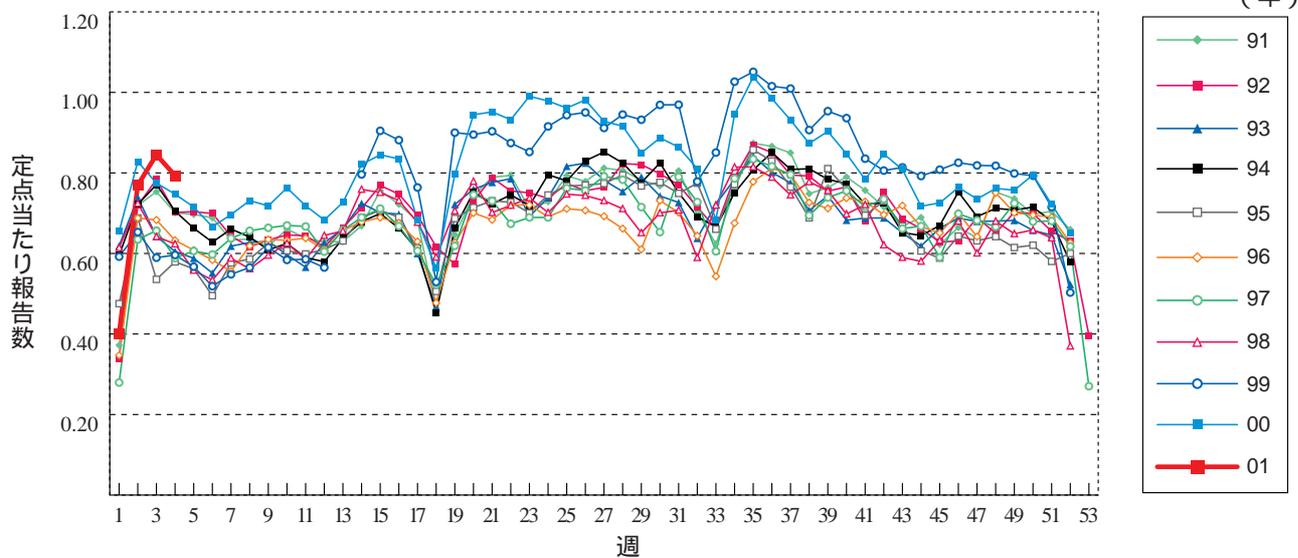
手足口病



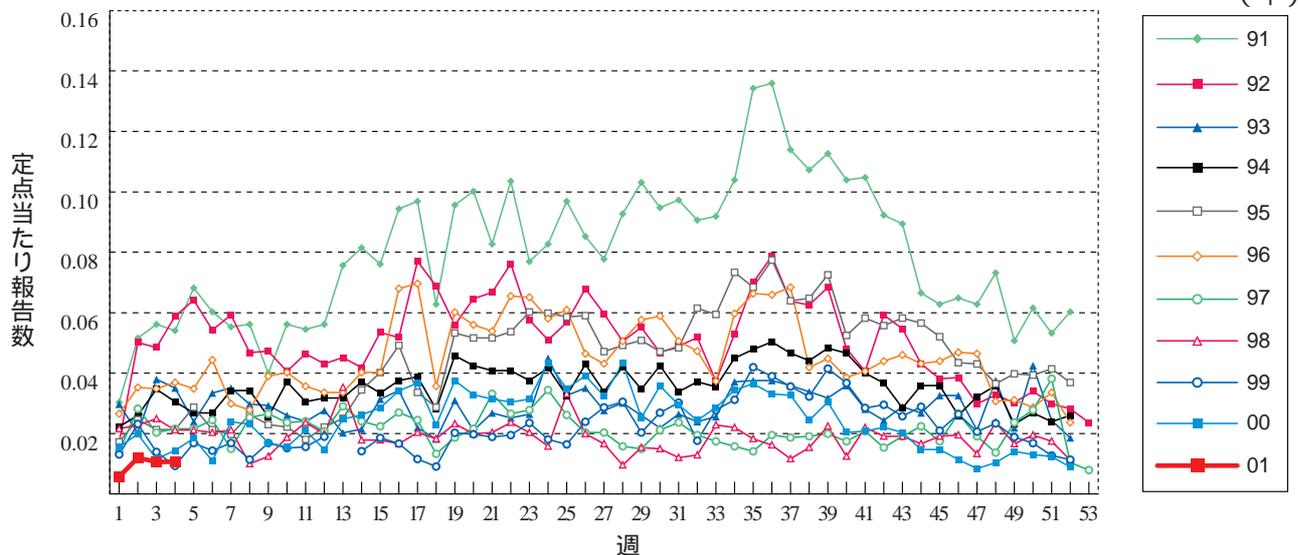
伝染性紅斑



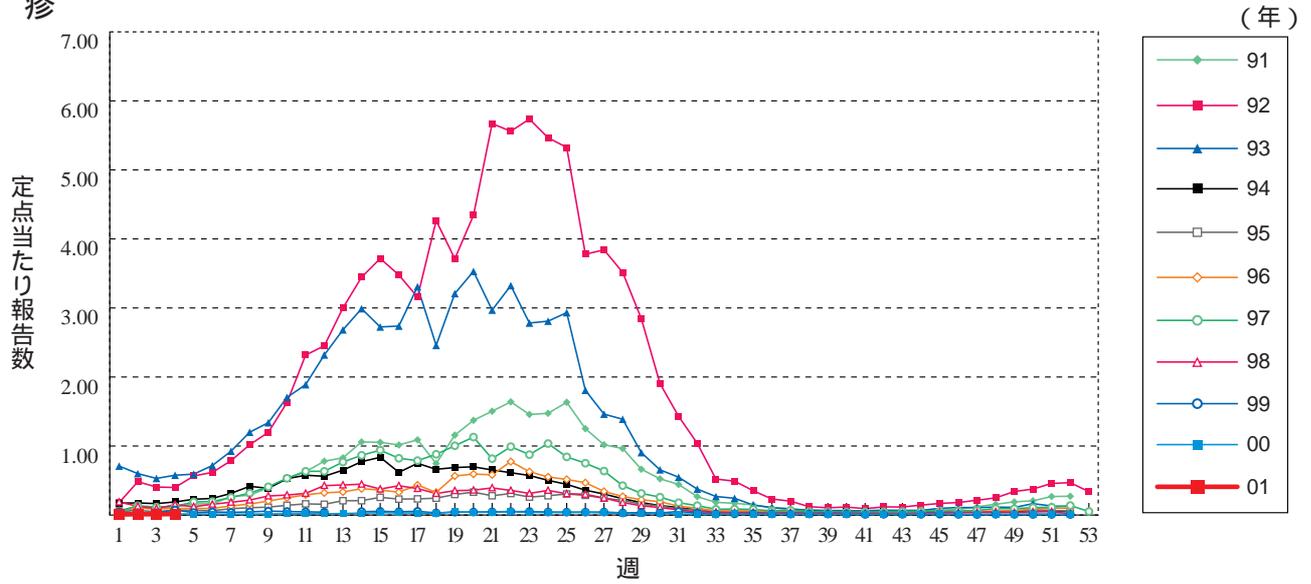
突発性発疹



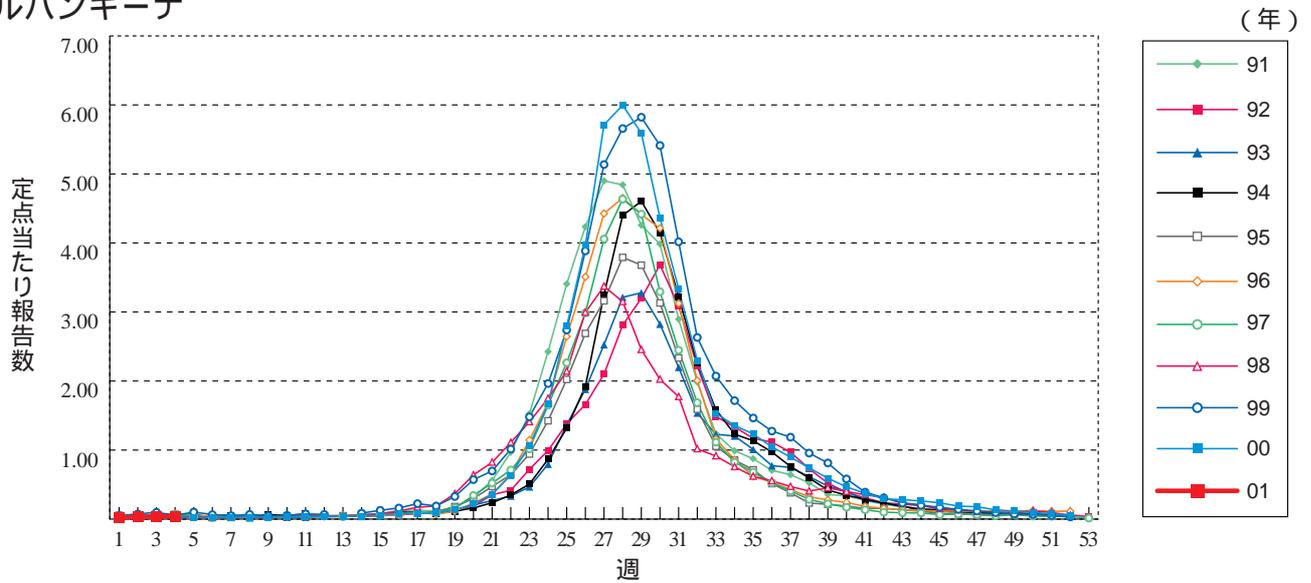
百日咳



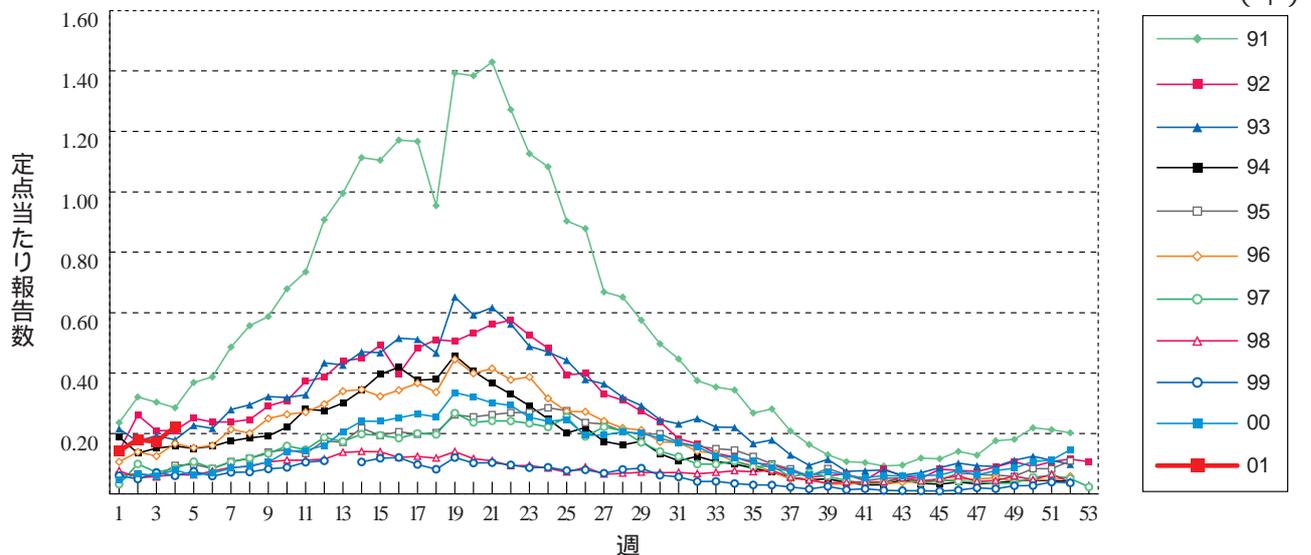
風 疹



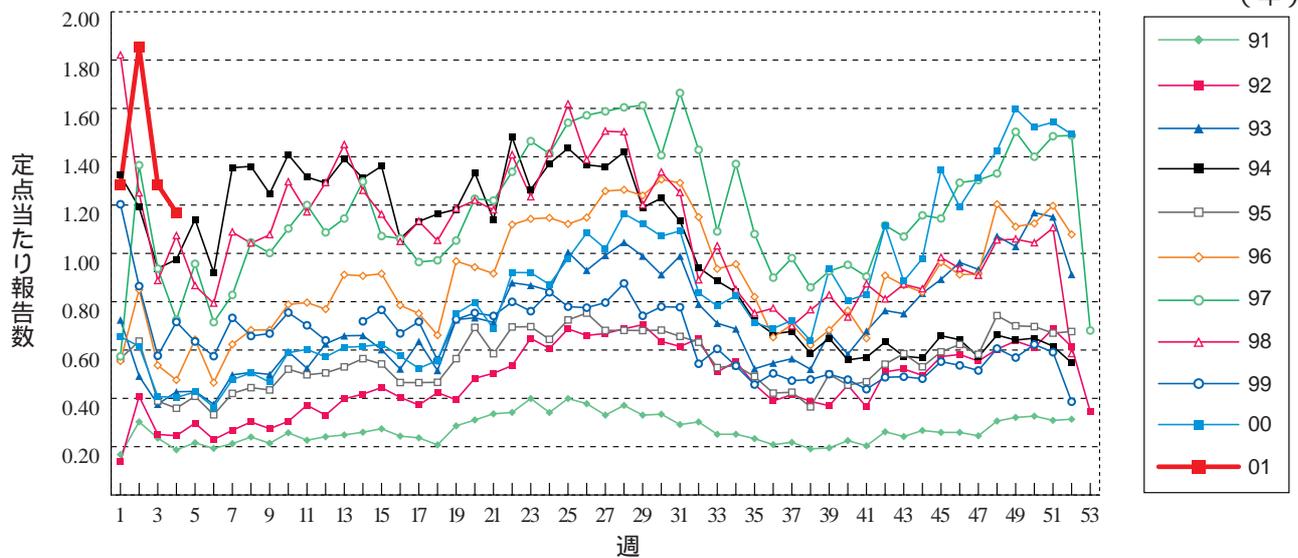
ヘルパンギーナ



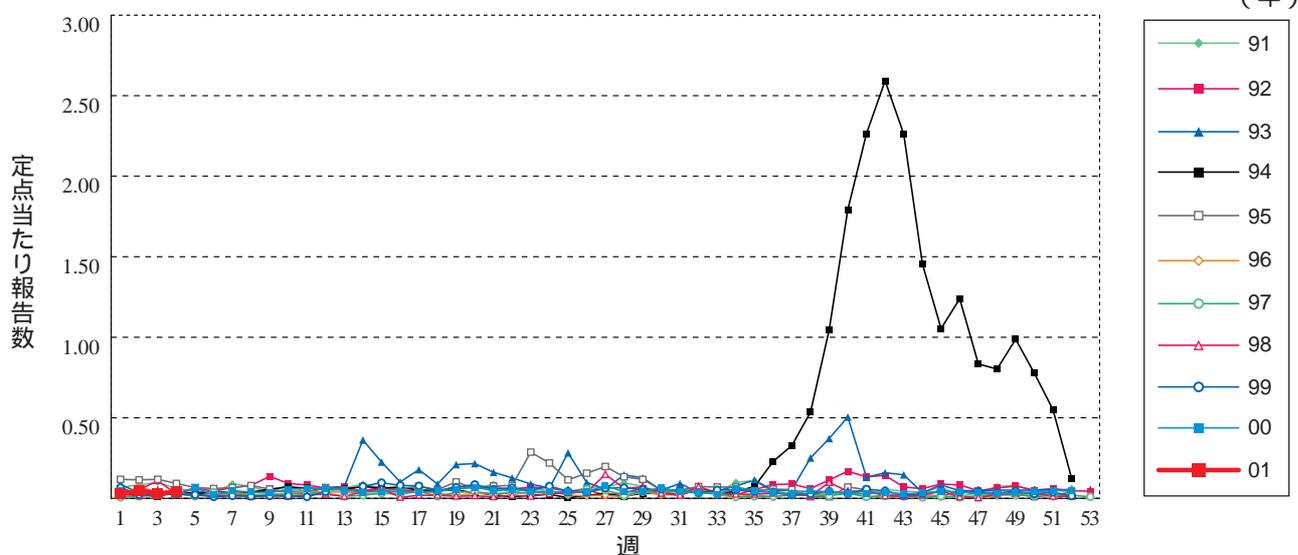
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



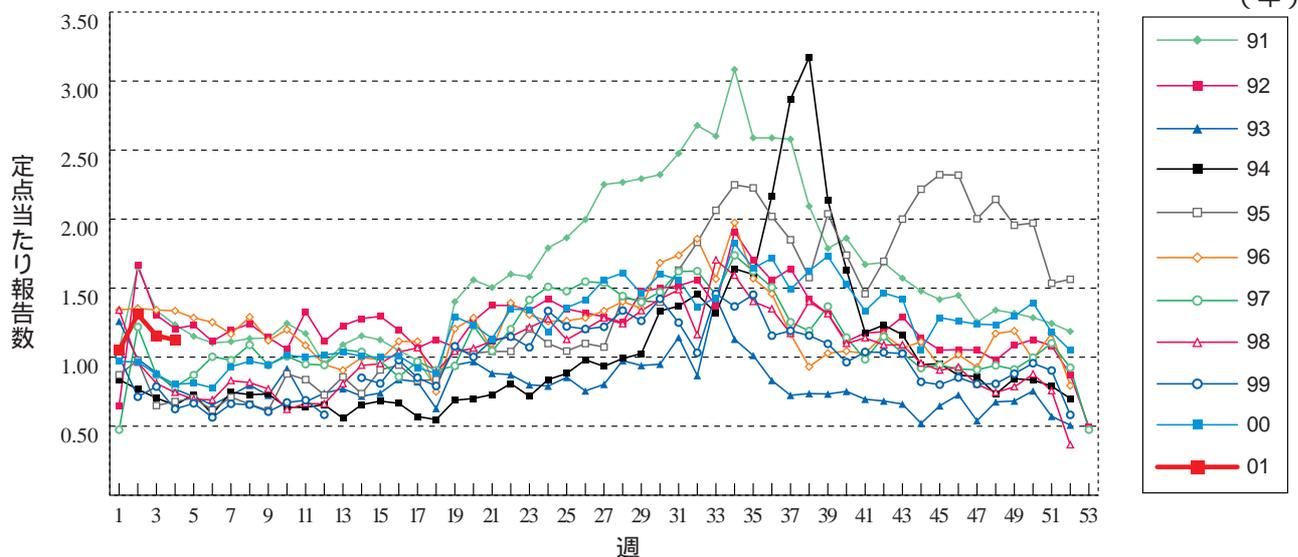
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

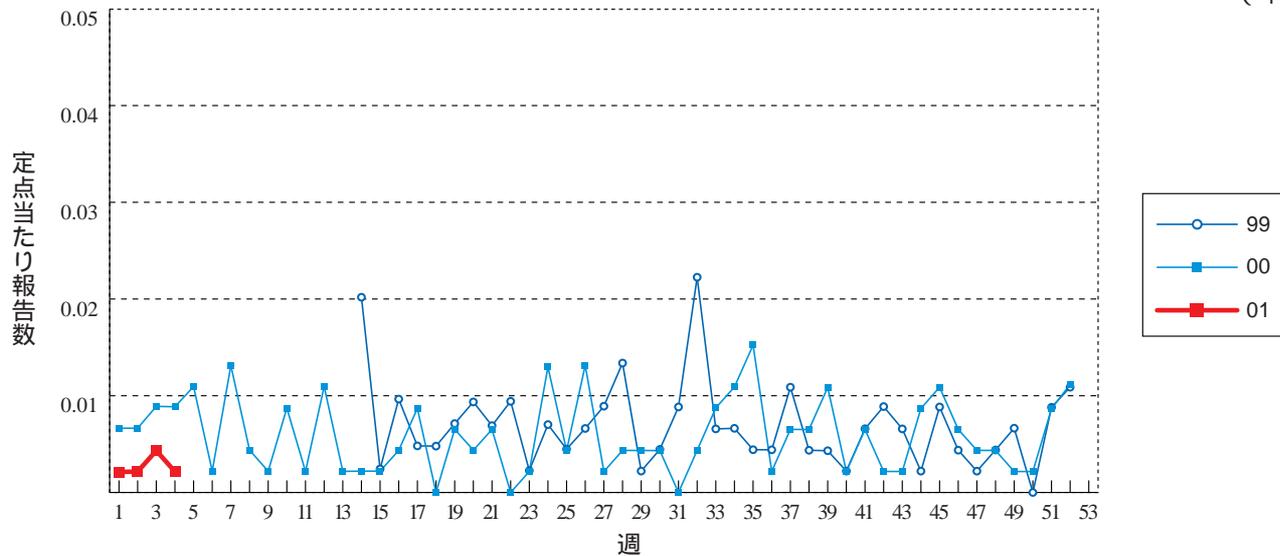


流行性角結膜炎



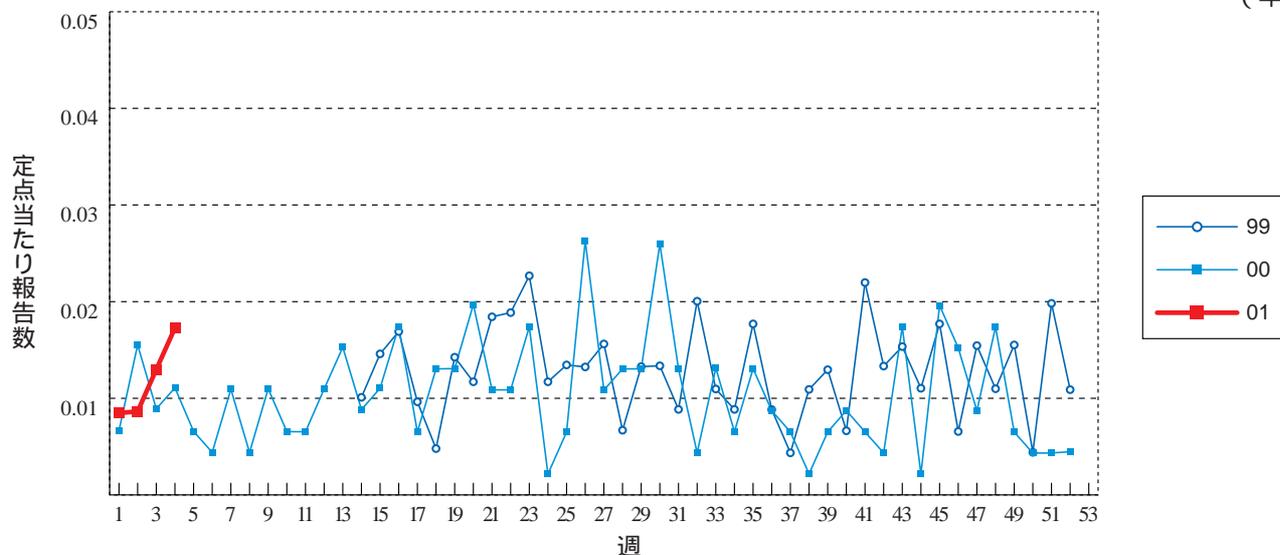
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



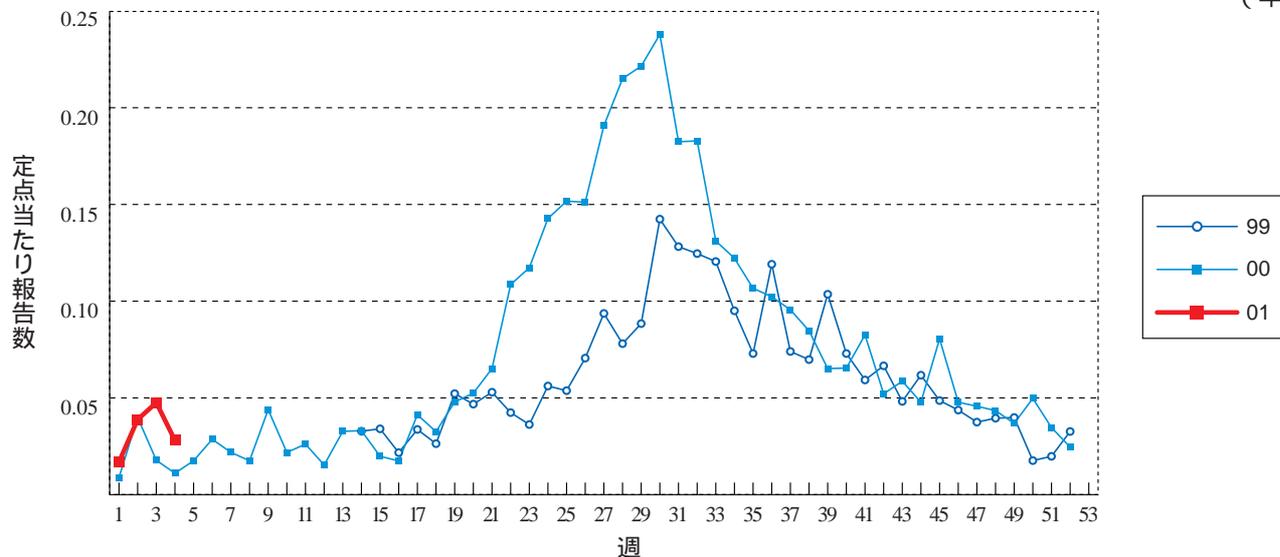
細菌性髄膜炎

(年)

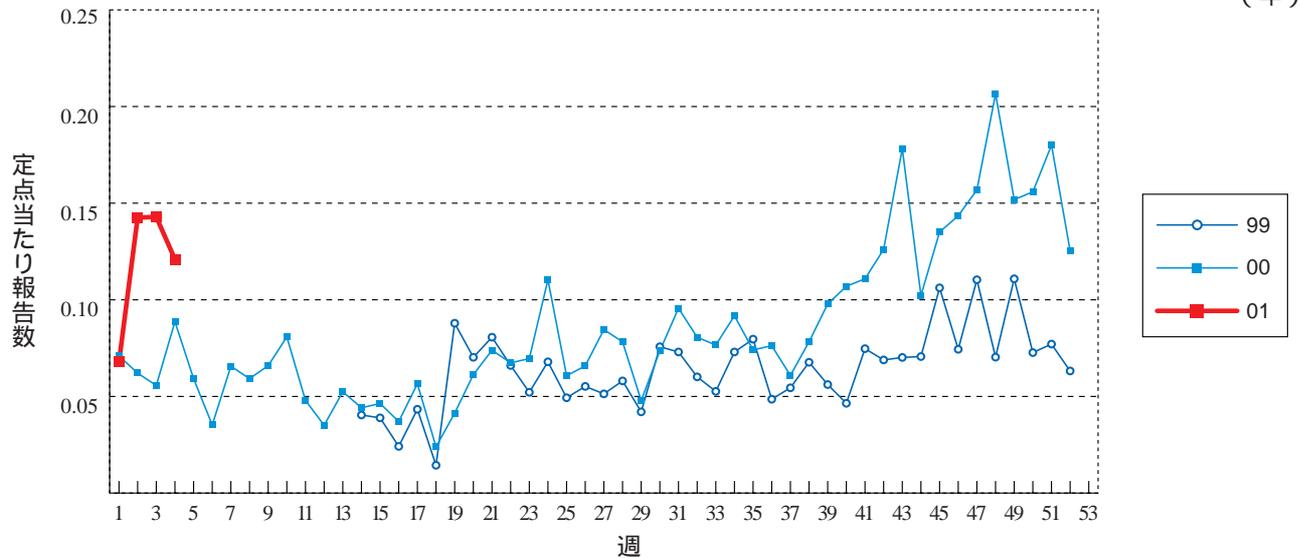


無菌性髄膜炎

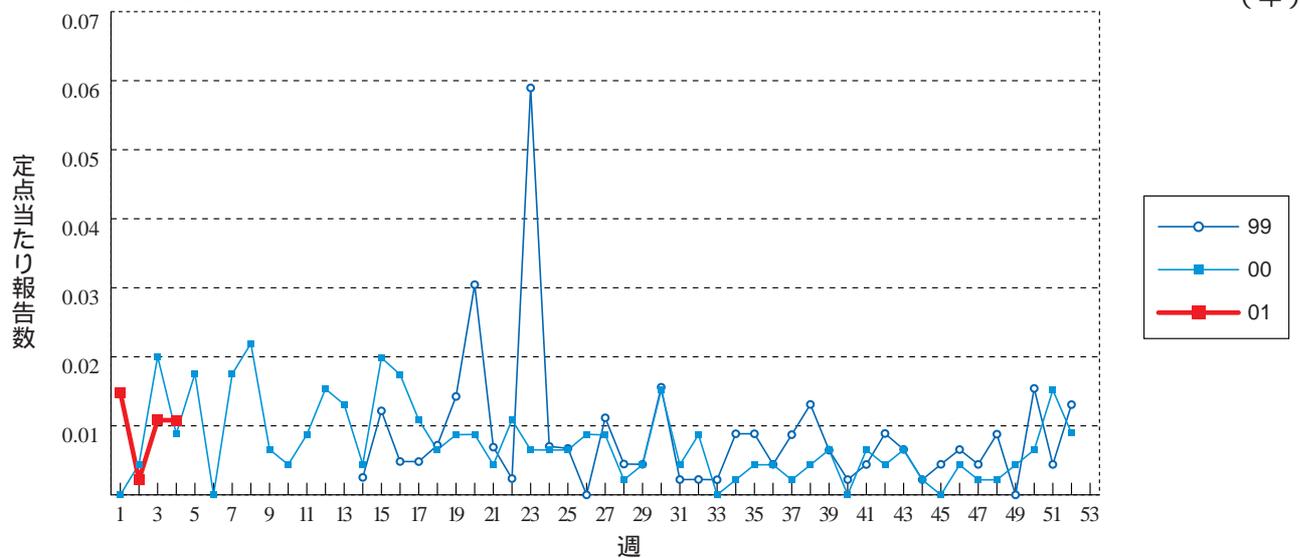
(年)



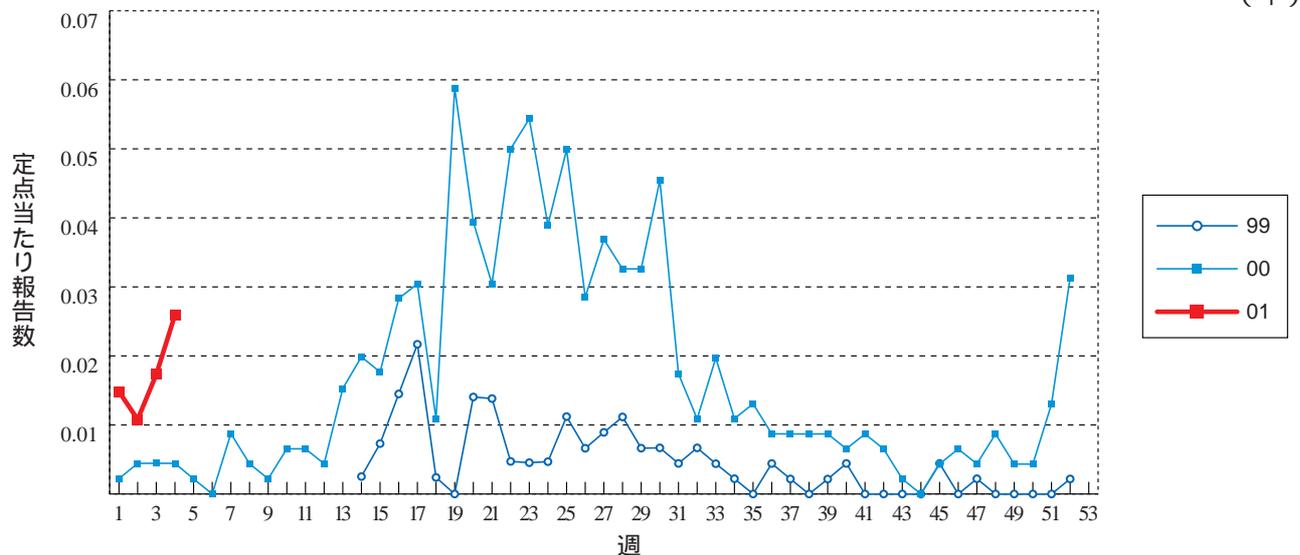
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹





4週 of データ

注)表中の報告数は2月1日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年4週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	6	38	3	3	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年4週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	14	51	4	24	-	-	-	-	2	2	-	-	4	19
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	7	1	4	-	-	-	-	2	2	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	5	6	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年4週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	5	1	4	9	41	-	-	1	4	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	17	-	-	1	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年4週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	4	27	-	2	-	-	-	-	-	-	3	31
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年4週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	7
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
神奈川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年4週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4210	0.91	244	0.08	4366	1.45	31253	10.37	8157	2.71	801	0.27	1288	0.43	2390	0.79	32	0.01
北海道	95	0.41	5	0.03	205	1.41	472	3.26	298	2.06	6	0.04	71	0.49	85	0.59	-	-
青森県	23	0.36	-	-	15	0.37	148	3.61	131	3.20	14	0.34	7	0.17	25	0.61	-	-
岩手県	24	0.39	-	-	45	1.18	245	6.45	107	2.82	4	0.11	75	1.97	24	0.63	-	-
宮城県	19	0.20	4	0.07	123	2.08	1059	17.95	185	3.14	25	0.42	49	0.83	69	1.17	-	-
秋田県	23	0.42	4	0.11	32	0.91	409	11.69	67	1.91	5	0.14	3	0.09	30	0.86	2	0.06
山形県	20	0.42	4	0.13	102	3.40	437	14.57	103	3.43	6	0.20	56	1.87	38	1.27	1	0.03
福島県	10	0.14	2	0.04	41	0.85	455	9.48	113	2.35	30	0.63	11	0.23	50	1.04	1	0.02
茨城県	74	0.63	4	0.05	116	1.59	698	9.56	194	2.66	3	0.04	12	0.16	34	0.47	-	-
栃木県	38	0.54	-	-	89	1.93	410	8.91	89	1.93	4	0.09	9	0.20	42	0.91	-	-
群馬県	65	0.65	4	0.06	120	1.94	653	10.53	189	3.05	8	0.13	20	0.32	32	0.52	-	-
埼玉県	298	1.17	17	0.11	286	1.81	2183	13.82	430	2.72	31	0.20	137	0.87	129	0.82	1	0.01
千葉県	168	0.82	17	0.13	260	1.97	1742	13.20	299	2.27	24	0.18	111	0.84	104	0.79	4	0.03
東京都	130	0.73	5	0.04	64	0.45	1172	8.25	162	1.14	6	0.04	81	0.57	70	0.49	1	0.01
神奈川県	330	1.01	9	0.04	203	0.99	2111	10.30	506	2.47	14	0.07	86	0.42	173	0.84	-	-
新潟県	84	0.85	10	0.17	267	4.45	536	8.93	278	4.63	13	0.22	16	0.27	58	0.97	-	-
富山県	22	0.46	2	0.07	74	2.55	280	9.66	115	3.97	11	0.38	2	0.07	24	0.83	-	-
石川県	17	0.35	2	0.07	80	2.76	368	12.69	79	2.72	6	0.21	15	0.52	29	1.00	2	0.07
福井県	14	0.44	6	0.27	28	1.27	263	11.95	69	3.14	19	0.86	19	0.86	18	0.82	-	-
山梨県	36	0.88	2	0.08	19	0.76	260	10.40	48	1.92	3	0.12	6	0.24	3	0.12	-	-
長野県	108	1.26	3	0.06	106	1.96	697	12.91	227	4.20	4	0.07	7	0.13	39	0.72	-	-
岐阜県	89	1.20	4	0.09	80	1.70	206	4.38	126	2.68	29	0.62	6	0.13	39	0.83	1	0.02
静岡県	164	1.20	18	0.21	79	0.92	1125	13.08	302	3.51	12	0.14	47	0.55	86	1.00	1	0.01
愛知県	140	0.73	8	0.04	183	1.01	1379	7.58	484	2.66	60	0.33	91	0.50	167	0.92	2	0.01
三重県	59	1.09	6	0.16	81	2.19	704	19.03	135	3.65	13	0.35	13	0.35	42	1.14	-	-
滋賀県	27	0.56	-	-	58	1.87	131	4.23	63	2.03	3	0.10	10	0.32	22	0.71	-	-
京都府	103	0.82	3	0.04	67	0.88	805	10.59	137	1.80	16	0.21	17	0.22	47	0.62	-	-
大阪府	358	1.19	11	0.06	167	0.87	1224	6.34	371	1.92	19	0.10	30	0.16	138	0.72	4	0.02
兵庫県	337	1.71	12	0.09	141	1.11	1261	9.93	340	2.68	25	0.20	21	0.17	114	0.90	-	-
奈良県	40	0.73	-	-	34	0.97	438	12.51	100	2.86	1	0.03	3	0.09	19	0.54	-	-
和歌山県	177	3.69	1	0.03	39	1.26	356	11.48	105	3.39	6	0.19	4	0.13	23	0.74	-	-
鳥取県	20	0.69	5	0.26	139	7.32	232	12.21	62	3.26	-	-	2	0.11	26	1.37	-	-
島根県	77	2.03	3	0.13	15	0.65	252	10.96	57	2.48	2	0.09	1	0.04	12	0.52	-	-
岡山県	54	0.64	12	0.22	51	0.94	565	10.46	153	2.83	9	0.17	1	0.02	45	0.83	3	0.06
広島県	47	0.40	10	0.13	109	1.45	884	11.79	165	2.20	7	0.09	20	0.27	50	0.67	3	0.04
山口県	52	0.74	11	0.22	100	2.04	658	13.43	162	3.31	16	0.33	10	0.20	50	1.02	-	-
徳島県	40	1.05	2	0.09	33	1.43	378	16.43	30	1.30	5	0.22	4	0.17	14	0.61	1	0.04
香川県	62	1.22	-	-	33	1.03	350	10.94	45	1.41	4	0.13	6	0.19	25	0.78	4	0.13
愛媛県	22	0.34	5	0.13	61	1.56	752	19.28	164	4.21	3	0.08	14	0.36	35	0.90	-	-
高知県	36	0.73	-	-	42	1.35	294	9.48	86	2.77	6	0.19	10	0.32	11	0.35	-	-
福岡県	160	0.98	9	0.09	216	2.06	1334	12.70	362	3.45	66	0.63	67	0.64	112	1.07	-	-
佐賀県	5	0.13	-	-	29	1.26	276	12.00	95	4.13	26	1.13	15	0.65	30	1.30	-	-
長崎県	55	0.83	-	-	29	0.60	174	3.63	101	2.10	19	0.40	3	0.06	15	0.31	-	-
熊本県	26	0.32	11	0.22	66	1.35	503	10.27	161	3.29	42	0.86	54	1.10	53	1.08	-	-
大分県	44	0.76	1	0.03	78	2.29	518	15.24	100	2.94	7	0.21	7	0.21	34	1.00	-	-
宮崎県	65	1.08	7	0.19	107	2.89	1086	29.35	262	7.08	58	1.57	30	0.81	42	1.14	-	-
鹿児島県	304	3.10	5	0.08	43	0.72	681	11.35	150	2.50	4	0.07	7	0.12	53	0.88	-	-
沖縄県	49	0.84	-	-	11	0.32	89	2.62	150	4.41	107	3.15	2	0.06	10	0.29	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年4週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	42	0.01	129	0.04	669	0.22	3521	1.17	26	0.04	712	1.12	1	0.00	8	0.02	13	0.03
北海道	1	0.01	4	0.03	57	0.39	221	1.52	1	0.03	28	0.97	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	8	0.20	32	0.78	1	0.09	8	0.73	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	-	-	3	0.08	17	0.45	-	-	13	1.08	-	-	1	0.05	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	9	0.15	11	0.19	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	0.03	11	0.31	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	2	0.07	28	0.93	-	-	7	0.88	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	2	0.04	50	1.04	14	0.29	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	2	0.03	1	0.01	52	0.71	-	-	51	3.19	-	-	-	-	-	-
栃木県	4	0.09	-	-	3	0.07	20	0.43	1	0.08	15	1.25	1	0.14	1	0.14	-	-
群馬県	1	0.02	5	0.08	4	0.06	48	0.77	1	0.07	29	2.07	-	-	-	-	-	-
埼玉県	4	0.03	9	0.06	21	0.13	343	2.17	-	-	33	0.94	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	-	-	3	0.02	11	0.08	206	1.56	3	0.09	48	1.41	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	4	0.03	15	0.11	89	0.63	-	-	21	1.50	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	4	0.02	41	0.20	246	1.20	3	0.07	51	1.21	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	4	0.07	2	0.03	161	2.68	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.03	-	-	9	0.31	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	10	0.34	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	96	4.36	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	7	0.28	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	34	0.63	3	0.30	15	1.50	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	55	1.17	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	9	0.10	120	1.40	-	-	12	0.60	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	1	0.01	12	0.07	14	0.08	196	1.08	1	0.03	25	0.71	-	-	-	-	2	0.15
三重県	-	-	5	0.14	-	-	76	2.05	-	-	2	0.20	-	-	-	-	3	0.38
滋賀県	2	0.06	-	-	1	0.03	37	1.19	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	2	0.03	1	0.01	93	1.22	-	-	14	0.78	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.03	29	0.15	38	0.20	192	0.99	1	0.02	30	0.58	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	4	0.03	4	0.03	130	1.02	1	0.03	24	0.69	-	-	-	-	-	-
奈良県	2	0.06	1	0.03	28	0.80	34	0.97	-	-	11	1.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	6	0.19	9	0.29	10	0.32	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.05	-	-	13	0.68	6	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	18	0.78	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	1	0.02	-	-	2	0.04	25	0.46	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.03	3	0.04	10	0.13	58	0.77	-	-	19	0.95	-	-	-	-	2	0.10
山口県	2	0.04	1	0.02	9	0.18	96	1.96	-	-	18	2.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	13	0.57	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	34	1.06	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	0.03	42	1.08	1	0.14	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	3	0.10	137	4.42	31	1.00	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	4	0.04	10	0.10	69	0.66	239	2.28	-	-	71	2.96	-	-	1	0.07	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	2	0.09	59	2.57	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	4	0.08	-	-	21	0.44	9	0.90	15	1.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	3	0.06	8	0.16	169	3.45	-	-	18	2.00	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	-	-	46	1.35	32	0.94	-	-	7	1.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	1	0.03	20	0.54	-	-	16	4.00	-	-	2	0.29	1	0.14
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	24	0.40	20	0.33	-	-	10	1.67	-	-	2	0.17	-	-
沖縄県	1	0.03	2	0.06	13	0.38	40	1.18	-	-	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年4週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	56	0.12	5	0.01	12	0.03
北海道	5	0.22	-	-	1	0.04
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	10	0.83	2	0.17	-	-
秋田県	2	0.25	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	1	0.20	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.09	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	1	0.13	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	2	0.15
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	2	0.25	-	-	4	0.50
福岡県	2	0.13	1	0.07	3	0.20
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	1	0.10
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第4号 平成13年2月9日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。